



土砂崩れに見舞われた観光ブドウ園(中央奥)を視察する亀岡偉民内閣府政務官(右)

＝南陽市赤湯

たい」と語った。

一行は濁流で崩落した織機(おりはた)川の四谷橋(漆山)と吉野川の白山在

家橋(金山)、土砂崩れに見舞われた観光ブドウ園(赤湯)を視察。白山在家橋では近隣住民が不安の声

を伝える場面もあった。

視察を終えた亀岡政務官は「昨年が続く被害であり、対応が遅すぎたと反省している。想定を超える災害にも対応するため、査定前の手続きを含め、できる限りのことをしたい」と述べた。激甚災害指定については「全国の被害を調査中であり、すぐに答えは出せない。調査結果を受け、対応したい」とした。

避難指示全て解除

白鷹町は、9日からの豪雨で土砂崩れの危険があるとして十王地区関寺の1世帯6人に出していた避難指示を12日正午に解除した。

これで一時、8市町の約8600世帯に出された県内の避難指示・勧告は全て解除となった。